



浄心庵・瞑想堂



日本上座仏教修道会



祝 新・浄心庵戒壇開堂一周年記念
シェーダゴンパゴダ形仏塔 日本上陸



新・浄心庵戒壇

Sāsana Sirī Dhara Sīmā

お釈迦さまの教えが伝わるために品位を保つ浄心庵戒壇

浄心庵「シーマー（戒壇）・仏塔建立」大プロジェクト 進捗状況

～ シェーダゴンパゴダ形仏塔・法隆寺形五重塔建立を目指して～

はじめに、ブッダ・ダンマ・サンガの徳と恩を念じ謹んで三宝に合掌礼拝申し上げます。また、すべての生きとし生けるものが健やかであり心安らかに幸せでありますようにと念じ申し上げます。

昨年令和3年（2021年）は、バッドンタ・ウ・ニャーヌッタラ大長老ご来日25周年、浄心庵の開庵30周年という記念すべき大切な年を迎えました。春には新しい「浄心庵戒壇（Sīmā）建物」が竣工し、3月の満月のウボサタの日に「浄心庵戒壇（Sīmā）建物を開く吉祥儀式」を執り行われ、大長老の大いなる慈悲と、完全なる三宝と比丘サンガの戒・定・慧の威力によって、すべての生命に善い結果をもたらす世界平和に繋がる吉祥なる聖地として「純粋なお釈迦さまの教えが伝わるために品位を保つ浄心庵戒壇」が世界に開かれました。この日を境に、瞑想会をはじめとして諸々の儀式や行事を執り行いました。

年末には、ミャンマー国から奉送されたシェーダゴンパゴダ形仏塔が日本に上陸し、浄心庵精舎に無事到着し、大長老のお導きによって御奉迎儀式などが順次執り行われました。

本年令和4年（2022年）も、引き続き大長老のお導きによって諸々の儀式を執り行いながら、大プロジェクト完成に向けて準備を進めております。年内には、新・浄心庵戒壇屋上に、ミャンマーで制作されたシェーダゴンパゴダ形仏塔と日本で制作された法隆寺形五重塔の建立の実現を目指しています。

来たる8月11日（祝 慈経が説かれた8月の満月のウボサタの日）には、当会の招聘に応じて、ミャンマー国より比丘様をはじめ、カッピャ（比丘に相応しくなるようにお世話する人）、仏塔職人2名の計4名の来日が決定しました。ご来日後は、両塔建立のための設置や付帯工事などの準備をする予定です。

当会の活動や情報につきましては、東京・新宿においては、新型コロナウイルス感染症の影響に鑑み、引き続き休止とさせていただきます。マジジャー・パティパダー通信誌の不定期発行を続けながら、日本上座仏教修道会公式WEBをはじめFacebookにおいても、随時お知らせして参ります。

さらに、大長老を導師として執り行っております上座仏教の伝統的な儀式や特別なご説法などは、Facebookなどインターネットを通じて公開し、世界の人々が、不安や苦しみから解放され安楽を得るために心から念じ、真理・真実を求めらるご縁がある人々へ、お釈迦さまの教えが伝わるための活動として取り組んで参ります。

偉大なる大長老の徳とご恩のおかげで、こうして皆さまと共に積むことのできた、すべての功德に随喜申し上げ、三宝と大長老をはじめ、ミャンマー人・日本人の皆さまの多大なるご尽力を賜りましたことに謹んで御礼申し上げます。

引き続き、大プロジェクトの完成に向けて、純粋なお釈迦さまの教えが永く日本の地に伝わるように、世界平和への礎となるように、大長老のご指導の下、三宝を拠りどころとして、涅槃へ至る八正道（戒・定・慧）を真摯に実践し波羅蜜を積んで参ります。

皆さまのあたたかいご支援、応援を、何卒宜しくお願い申し上げます。

純粋なお釈迦さまの教えが永く存在するための浄心庵「シーマー（戒壇）・仏塔建立」のための特別な功德は将来にわたって善い結果をもたらします。お布施を希望される方は、当会のホームページのトップページ「浄心庵「シーマー（戒壇）・仏塔建立」お布施のご案内」をご参照ください。

また、上座仏教修道会維持のためのお布施を始め通常のお布施も受け付けております。

Idaṃ no puññaṃ nibbānassa paccayo hotu.

皆さまと共に私たちが積んだ多くの功德によって 涅槃への因縁になりますように

Buddha sāsanaṃ ciraṃ titṭhatu.

お釈迦さまの教えがなくならないで永く存在できますように

Sādhu Sādhu Sādhu

サードゥ サードゥ サードゥ

仏暦2566年 西暦2022年 令和4年8月1日
日本上座仏教修道会 代表 吉田 郁子